



# さぬきメディカルラリーで 学んだこと

クリティカルケア認定看護師  
DMAT隊員

岩本 典子



## 実践型訓練で磨く現場力

2025年10月25・26日、香川県で開催された「第19回さぬきメディカルラリー」に参加しました。

この大会は、医師・看護師・救急隊員などがチームを組み、実際の救急現場を想定した複数の症例に対応する実践型の医療訓練です。限られた時間と情報の中で、的確な判断と行動が求められるため、医療従事者にとって現場力を磨く貴重な機会となっています。

## 女性チームで挑戦

広島出身の私は、今回、広島にゆかりのある女性だけのチームで挑戦しました。

普段は一緒に働く機会のないメンバーでしたが、互いの得意分野を尊重し、声をかけ合いながら動くうちに、自然と信頼関係が生まれました。

緊迫した場面設定の中でも、笑顔と声かけを忘れず、柔軟かつ丁寧な対応を心がけ、「微笑みは正義」をモットーにチームワークを深めました。気遣いや思いやりを大切にすることで、女性ならではの視点を活かした活動ができたと感じています。

## 指揮をとる難しさと学び

各メンバーが順番にコマンダー（現場の指揮者）を務め、全体を見ながら指示を出す難しさを体験しました。限られた情報の中で優先順位を決め、的確な指示を下すには、チーム全員の協力と信頼が欠かせません。

また、普段から現場で活動されている消防・救助隊の方々の冷静さや統率力の素晴らしさを改めて感じました。

## 結果と学びを地域医療に活かす

今回のラリーでは、患者さんへの対応だけでなく、家族や通行人、警察など周囲への配慮も求められました。

状況を見極めながら行動することの大切さを強く実感し、チーム全員がそれぞれの役割を果たすことで、最良の判断と連携につなげることができました。その結果、私たちのチームは優勝という嬉しい成果を得ることができました。

## 生命と向き合う時間

大会期間中に行われた「臓器移植」をテーマとした講演では、「生きるとは何か」「生命をつなぐとはどういうことか」という深い問いに向き合いました。

日々の医療現場で患者さんやご家族と心を通わせながら向き合う姿勢を大切にしようと、改めて感じる時間となりました。

## 出会いは必然

さぬきメディカルラリーのコンセプトは「出会いは偶然ではなく必然である」。

今回の経験を通して出会った仲間や講師の方々、そして多くの学びは、まさにこの言葉の通りでした。

ひとつひとつの出会いが、自分の成長や地域医療への貢献につながる「必然」だったと感じています。

これからも知識や技術を磨きながら、地域の皆さんに安心していただける医療を目指し、活動を続けていきたいと思ひます。